

# シルバー高島

発行 (社) 高島市シルバー人材センター 広報部会 滋賀県高島市勝野1365 TEL (0740) 36-8191 FAX (0740) 36-8010



(社)高島市シルバー人材センター

## 第七回 通常総会を開催

三月二十五日(水)午後一時三十分から安曇川公民館ふじのき  
ホールで、会員三八五名が出席し、盛大に行われました。

(社)高島市シルバー人材センター  
第七回通常総会が、正会員五二六  
名中、三八五名(出席者二四五  
名、委任状一四〇名、出席率七  
三%)の出席のもと、盛大に開催  
されました。

当日は、市長・市議会議長は、  
市議会開催のため欠席されまし  
た。また大津公共職業安定所高島

出張所長は、当日公務のため急遽  
欠席でした。祝辞及びお祝いの  
メッセージを頂きましたので、披  
露を行いました。

その後、早藤隆生様を議長に選  
出し、議案の審議に入りました。  
各議案について事務局から説明  
し、採決の結果、いずれの議案も  
原案どおり承認されました。

### ●通常総会 提出議案

#### 議案第一号

(社)高島市シルバー人材センター  
プラチナ会員運用規程(案)について

#### 議案第二号

(社)高島市シルバー人材センターの  
会費規程の一部変更(案)について

#### 議案第三号

平成二十一年度事業計画(案)について

#### 議案第四号

平成二十一年度収支予算(案)について





# ごあいさつ



高島市長  
西川 喜代治

旧高島郡五町一村が合併した平成十七年に、高島市と同じくして発足した高島市シルバー人材センターも早や五年目を迎えられる。

平素より金矢理事長様をはじめ役員の皆様方や五百人を超える会員の皆様方におかれましては、高島市政への格別のご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

皆様もご承知のとおり、アメリカの金融危機に端を発した、世界規模での景気の急速な悪化は「百年に一度の経済危機」といわれるまでの状況であります。わが国においても経済悪化の影響で製造業の派遣労働者をはじめとする解雇が相次ぎ、「派遣切り」という言葉が聞かない日はないといつても過言ではないくらい、大変厳しい状況が続いております。

経済悪化の影響は様々なところに波及し、高島市シルバー人材センターにおいてもその影響は避けられない状況であることは察しております。この難局を打開するために役員および会員の皆様方も多



方面にてご努力・ご尽力されておられることお聞きしております。

「自主・自立・共働・共助」の基本理念の下、長年培ってこられた経験や知識・技能を活かして「シルバー」だからこそできること。

「シルバーでないといけないこと」といった独自の事業に磨きをかけておられる取組は、高島市シルバー人材センターをより魅力的な組織にしていくことでしょうか、会員様が実施されている環境美化活動をはじめとするボランティア活動は、その努力が結実し、地域住民からより一層、信頼され愛される組織になっていくものであると確信しております。

結びになりましたが、高島市シルバー人材センターの益々のご発展と役員・会員の皆様方のご健勝を祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

## 平成二十二年度 事業計画基本方針

世界経済の低迷に伴う景気の急速な悪化により、特に製造業における生産量の縮小傾向から雇用失業情勢は悪化しており、事業主都合での離職者が大幅に増加しているという大変厳しい状況が続いています。このところ労働環境も大きく変化しており、市内の企業や家庭からの仕事を請けられる割合がどのようになってゆくのか先がよく見えない不安があります。この難局を打開してゆくためには、

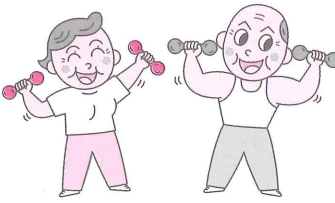
- 第三年次目に入るシルバー人材センター事業活性化計画を一段と推進していく必要があります。企画と実践のために立ち上げられた推進委員会の
- A班：会員増強事業・就業機会開拓事業
- B班：企画提案型事業・指定管理者制度事業
- C班：ワークプラザ施設設置事業・設立五周年記念事業

それぞれ取組み活動を行ってまいります。更に、本年度は本推進委員会・役員・会員が一体となって具体的な成果が挙げられるように努めます。

シルバー人材センターは、会員

が人生経験の上に培われてきた技術・技能を生かし健康で働く意欲があり地域社会に貢献し生きがいのある人生を創造することであり、国の再チャレンジ支援総合プランもここに主眼が置かれているものであります。会員増強の一環としては、加齢により就業が難しくなって退会し通常の「お年寄り」となることを防ぐため、会員との交流をもちながらボランティアという地域社会参加活動や厚生事業を通じて会員相互の親睦交流を持つ等、生きがいの充実を図るプラチナ会員制が本年度より実施されます。

シルバー人材センターは、制度発足以来「福祉の受け手から社会の担い手」となることを目指し「自主・自立・共働・共助」の基本理念の下に活動しているところであり、本年度は特に事業活性化計画推進委員会の活動強化を主とし、会員の増強と就業機会の開拓・提供に努めます。





# 安全研修

★チエーンソーの安全取り扱い講習会を実施しました。

シルバーに依頼される仕事の中にも、チエーンソーを使用する機会が増えました。チエーンソーは身近な工具ですが、取り扱いを誤ると大きな事故・傷害を引き起こします。今後も定期的に講習会を実施していきたいと思えます。

★独自事業手芸班では、必要なき会議を開き、相談しながら動いています。

三月二日は帆布を使い独自開発商品は出来ないか検討会を開きました。剪定くずを入れる袋や、五周年記念商品作成などの検討を行いました。



# プラチナ会員について

▼プラチナ会員規程が総会で議決される

その主だった内容を再度掲載致します。

## 〈目的〉

センターの正会員の内、加齢や健康状態などの諸事情により、シルバー事業による就業が困難となりながらも、多様な地域社会参加活動や、構成事業を通じて、健康を維持し生きがいの充実を希望する人に関して必要な事項を定め、当該会員の社会参加活動の推進を図ることを目的とする。

## 〈会員の権利義務〉

★センターの発展を支援し、その運営に積極的に協力するものとする。

- ・定期総会の出席と議決権
- ・就業以外の事業への参加（ボランティア活動・互助会活動・同好会活動）
- ・センターから要請された活動の協力

## 〈会費〉

年額 五〇〇円  
（プラチナ会員用傷害保険の掛け金含む）

互助会会費 五〇〇円

合計 一〇〇〇円

# 宮津・与謝

## 広域シルバー

（来所の様子）

（社）宮津・与謝広域シルバー人材センターより視察研修に来所される。

去る、二月二十四日（火）に当センターに役員、事務局、総勢十七名の皆さんが視察研修に来られました。

倉橋義和理事長より

宮津、与謝広域シルバー人材センターは京都市北部に位置し、平成元年に一市二町が統合。二十一年目を迎えるシルバーである。丹後ちりめんの産地でもあります。

平成十九年度は会員四四九名と、入会率は六十歳以上人口の二・四％、契約金額約一億六一〇〇万円です。高齢化も進み事業も会員も減少気味で、大変厳しい状況であり、規模的に似ている事から勉強をさせてほしいとあいさつを受けました。

続いて金矢健一理事長よりお迎えのあいさつのおと、川添事務局長より、当センターの流れや概況を説明。五年前、やり方の違う六つの単位シルバーが統合し、社団を取得したときの話や、合併後の取り組みなどを説明。現状等についても詳しく説明しました。後、質疑応答にはいりました。



☆チップの剪定のくずはどうしているのか？

☆広報紙の（会員募集・作業依頼）反応はどうであったか？臨時号作成の参考にしたい。

☆講習会や互助会など、会員への参加募集はどうしているのか？

☆宮津・与謝広域も広範囲であるが、高島市も広範囲のシルバーと聞いている。どのくらいの範囲になるのか？

☆プラチナ会員とは？  
等々皆さん熱心に研修をされて帰路につかれました。





# 研修報告

## ▼子育て支援研修

～県シルバー人材センター連合会主催～

平成二十一年二月十六日、二十  
六日の両日、琵琶湖ホテル三階に  
て開催されました。

### 第一日目

講演 「子育て支援について」  
講師 滋賀文教短期大学初等教  
育科 大下二三子氏

### 第二日目

県内各シルバー人材センター子  
育て支援事業の経験発表とパネル  
ディスカッション。(実施されて  
いる子育て支援事業の会員・役職  
員の体験報告)

彦根市は学童保育(運営主体は  
彦根市福祉保険部子育て支援課)  
指導員のサポート十三校、(シル  
バーだけで運営二校)

栗東市は「みらい・たくす」と  
称し、寄り添い支援、ふれあいサ  
ロン「シルバーママ」、乳幼児親  
子サロン、小学生体験教室に取り



会員さんの馴れたオムツ交換



会員さんのケーキやさん

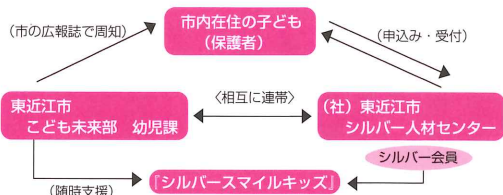
組んでおられます。  
東近江市は「シルバースマイル  
キッズ」、  
「シルバー子育てひろ  
ば」を開設されています。



ふれあいサロン「シルバーママ」

## ▼研修を終えて

各市で幅広く  
活躍されていま  
す。高島市シル  
バー人材センタ  
ーも子育て支援  
事業として取り  
組みが進められ  
ることを期待し、  
努力していきたく  
いと感じました。



# シルバーいきいき 元氣セミナー 参加報告

～高島市地域包括支援センター主催～

## ▼元気に活動し 支え合うために

平成二十一年三月六日、十三日  
の両日、安曇川ふれあいセンター  
(ふじのきホール)にて開催され  
ました。

＜参加人数＞約三十名  
＜内容＞

- ・介護予防のすすめ
- ・コミュニケーションを深める
- ・認知症とは
- ・転倒予防体操
- ・膝・腰痛体操

健康の大切さ、おいしく、楽し  
く、口腔ケア、いきいき体操など、  
実技と講議を交えて「生涯元氣」  
になるヒントもたくさんありました。



# 道の駅 「しんあさひ 風車村」にて



## ～もの作りは楽しい～

昨年の十二月二十一日(日)道  
の駅「しんあさひ風車村」にて、  
クリスマス会がありました。会員  
の饗庭泰三さん、中川しん子さん、  
山川清さんの三人が、竹トンボ・  
クリスマスグッズ・コマなどの体  
験コーナーで頑張っておられまし  
た。若いお父さんと男の子が竹ト  
ンボに挑戦したり、別の子がコマ  
まわしに夢中になり、大変盛り上  
がっていました。松ボックリの可  
愛いツリーも大変人気で、超にぎ  
やかな笑い声が響き、楽しいもの  
作り体験の一日でした。



# 互助会便り

水谷 芳純

## ▼料理教室を実施して

料理教室を十二月十二日〜十二月十七日の間に三回、「新旭」「今津・マキノ」「高島・安曇川・朽木」地区の三会場に分かれて開催しました。参加者は、合計で七十五名で料理の内容はマグロの手こね寿司、生魚のホイル焼き、エリンギのお吸い物とデザートにさつま芋と、りんごのさっぱりヨーグルトサラダを参加の男性・女性の区分なくグループに分かれて、わいわいがやがやと楽しく料理をして昼食に美味しくいただきました。

以前の内容はよく知りませんが、今回は女性が料理をして食事時に男性も入り食べると言う形ではなく、参加者全員で料理しながら親睦を深め又、会員それぞれの日頃の違った一面を見ることも出来て有意義な料理教室であったと感じています。今後は、男性の方も厨房に入り、奥様の体調不良時や旅行等で不在の時

んの指導で、お孫さん達にも喜ばれる様なチューリップ寿司(切り口がチューリップの花形の巻寿司)を作り食べました。男性会員も「帰って孫に作ってあげる」とチャレンジされるそうです。今後も会員の皆様の料理内容や、作り方等を聞きながら継続して行ければと思います。



## 新風 新入会員より

大原 亘

昔(戦国の時代)は、人生五十年! :。今の世は、我国もまた超高齢化社会を迎えており、今や平均寿命は八十歳と言われています。しかし、今の混沌とした世相を考えると、有難くもあり、有難くもなしと言ったところでしょうか。

私は、早いもので、今年満六十五歳を迎えましたが、お陰さまで

心身ともに生き生きと趣味を持ちながら地域の人達と楽しく交流をしています。

澄み切った空気と川の流れ、また、四季の装いが美しい里山、そして何と言っても県民に大いなる恵みを与える母なる湖(マザーレイク)「琵琶湖」の懐に抱かれて、この美しい高島の地を『第二のふるさと』と想い、『第二の人生』を感謝しながら妻子共に三人で暮らしています。

私の第二の人生のライフスタイルは、趣味と少々の仕事を持ちながら、地域の人達との交流を深め、生きがいと活力のある人生を送りたいことです。

昨年二月(京都から転入)滋賀県人となり、新旭(針江地区)に定住しましたが、この四月から、シルバー人材センターに入会させていただきました。

先輩の皆様方と楽しく仕事をし、少しでも地域に貢献できればと考えています。今後とも皆さん方の暖かいご指導とご鞭撻をよろしくお願いします。



# 会員の広場

シリーズ 私の健康法



新旭町 八田 房江

毎日のたわいないお喋りに花を咲かせる言葉の中に必ず、「元気ですね。」この元気の第一の秘訣、若柳流佳寿乃会で踊りを習っています。理念として中江藤樹先生の教えである「五事を正す」貌言視聴思をいつも心に置き、和と親睦を大切に公民館でお稽古に励んでいます。大きな舞台の発表会や皆様とのふれあいを大事にするボランティアなどへも出掛けて行きます。

第二は野菜作りで一年を通じて新鮮で美味しい野菜が食べられます様にと、第三はシルバーとしてお仕事に励んでいる事。しつかりと大地に根を張り春夏秋冬に必ず花や実をつける、そんな自然の中でお仕事が出来ます事に感謝「古い木に花が咲く」の言葉を思い出し、自分の前途を見限らず、豊かなときの流れ、私の育った大好きな町新旭の美しい風景の中で、常に夢と希望をもち健康に生活したいと思っています。



●●● 新入会員のお知らせ ●●●

21年4月1日までの入会者(敬称略)

氏名	支所名	地区名
谷口 正勝	安曇川	広瀬・安曇
石島 稔	安曇川	広瀬・安曇
岡田 文七	安曇川	本 庄
北澤サク子	新 旭	針江・深溝・旭
堤中 清	安曇川	本 庄
奥津 和行	安曇川	本 庄
中田 勇一	安曇川	本 庄
保木 幹郎	安曇川	本 庄
安本伊左雄	北 部	今津(西)
安原加津子	新 旭	藁園・太田
永井 忻昇	北 部	マキノ(南)
石川 良行	北 部	マキノ(北)
山口 和子	朽 木	朽 木
板楠 靖生	安曇川	広瀬・安曇
大原 亘	新 旭	針江・深溝・旭
堀井 昭	新 旭	新庄・安北
伊丹 孝子	本 部	高島1班

会員数

21年4月1日現在

支所名	男	女	合計
安曇川	74	37	111
北部(マキノ)	59	13	72
北部(今津)	71	25	96
朽 木	20	13	33
本部(高島)	46	25	71
新 旭	85	49	134
合 計	355	162	517



進士 良治さん

私の作品紹介



林 美榮さん



西川 秋子さん

会員の作業状況



風車村の Swan ボート 清掃様子

俳句

- ・ 刻々と暮れゆく琵琶湖鴨なまぬ 饗庭 功
- ・ 妻の居ぬ厨房広し小豆粥
- ・ 冬帽子忘れてあるとメール来る 上原たづ子
- ・ 浜風に梅の香りのほのとあり
- ・ 土筆摘むかごの取り合ひ孫の声
- ・ 水仙花雪に埋もれてしまひけり 兼原 久子
- ・ パソコンに夢中ストープ消えてゐし 中川しん子

川柳

- ・ 葦繁り小鳥のおそび場春の朝
- ・ すてきゃベツ死んでないぞと花咲かす
- ・ もぐら跡何を追ってかあちこちに 歌人シルバー

原稿募集!

会報「シルバー高島」へ原稿をお寄せください。感想文・雑感・短歌・俳句・川柳や作品の写真なんでも結構です。「広報役員・支所・本部へお届け下さい。」お待ちしております。

又、シリーズ的に会員皆さんの「私の健康法」と題して掲載させていただきます。皆さんのいろいろな健康法を教えてください。今回作品をお寄せ頂きました皆様、本当にありがとうございました。

編集後記

桜の開花一色ですが、土の中から春を告げる露のとうに続けと、紫紅のヒメオドリコソウが所せましと乱舞し、土筆も負けじと背伸びし丈を競うように天に向っています。

高島のシルバー人材センターも設立五周年を迎えます。新年度から「プラチナ会員」制度が創設されました。広辞苑によると「プラチナ」とは「灰白色の白金で、鮮明な光沢を持ち、展性、延性に富む金属」だそうです。

経済的には逆風ですが、今こそ会員の知恵と創意を結集して新しい事業を開拓し、多くの仲間を増やしたいものです。

皆さんのご意見をいただければ幸いです。

広報部会